

# むらさき会だより

2023年版  
No.27  
令和5年9月1日発行

山村学園創立100年

100th Anniversary  
YAMAMURA GAKUEN

大正11年9月1日 創立者 山村みよが「裁縫手芸伝習所山村塾」を開校  
(学校法人山村学園創立80周年記念誌より抜粋)

新たな100年のスタート

校歌

- 一.富士の高嶺の白妙を  
雲のあなたに仰ぎつゝ  
学びの道を踏みわけて  
やがて極めんいただきを  
名は山村よ我等の学舎
- 二.清き流れの大利根や  
行く手は遠く広くとも  
教えの海に漕ぎ出でて  
底の真珠を探りなん  
名は山村よ我等の学舎
- 三.初雁おとつ武蔵野に  
紫におう藤の花  
理想を高くかざしつゝ  
いざや進まん諸共に  
名は山村よ我等の学舎



学校法人 山村学園  
山村学園高等学校

学校法人 山村学園  
山村国際高等学校



山村学園むらさき会  
会長 田中 久子

### ご挨拶

母校山村学園は、令和5年11月14日ペルーナドーム（西武ドーム）を会場に創立100周年記念式典を開催いたします。むらさき会では、この記念すべき日に向けて役員会を重ねてまいりました。むらさき会の活動目的である「学園を後援する」ことを決定しました。（別記ご報告）ここに、会員の皆様に感謝申し上げご報告させていただきます。

日頃より、教育環境を構築する学園に長い歴史と伝統を実感しております。会員の皆様の在学中の思い出は、学舎でしょうか。部活動、クラスメイトでしょうか。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行しました。しかし、今年度は万全を期して総会並びに懇親会は中止とさせていただきます。

今年度も多くの会員をお迎えしました。これからも、一年一年を積み重ね、更に会員相互の親睦が深められることを願っております。

今後も、会員皆様のご協力をお願い申し上げます。ご挨拶いたします。



山村学園  
理事長 岡 實 先生

### 百周年を迎えて

大正11年9月1日、二十歳の誕生日に山村みよ先生が播いた一粒の種子から生長した樹は現在、高校2校、短大1校として社会の負託を受け教育の場で活動しております。其々は一本のようでも創業者の思いと言う同じ根を有しています。しかし、3校は交り合って活動した事はありません。

今年、11月14日に西武ドームで百周年の記念祭を開催します。山村学園で学んだ同窓生・現在の学生生徒・教職員・退職者・後援会員・賛助会員など、山村学園に係わった人々が一堂に集まり祝い、在校生の活動の一部を発表します。是非ご参加ください。

部活動では大変頑張り、全国大会で優勝した部も複数あり現在の山村学園の魅力を窺い知ることも出来ます。同窓生にとって普段知る事の少ない短大の活動の一端を観ることも出来ます。

此の行事を通し、次なる一歩に向けて皆の心が一つになればと考えています。なお、此の記念祭をはじめ運営の為に多額の寄附金をむらさき会より戴きました。大いに活用させていただきます。



むらさき会 相談役  
山村 寛 先生

### 父 山村要二を偲んで

山村要二(旧姓根岸要二)は、現在の所沢市三ヶ島に居住する父 根岸勝蔵・母ちえの姉6人・兄1人の8番目の次男として、明治36年(1903年)3月30日に生まれました。

地元の小学校を卒業して、豊岡実業学校(現在の埼玉県立豊岡高等学校)に入学し、卒業後は、父と兄が小学校に教員として勤務していたので、自分も教員になるため埼玉師範学校(現在の埼玉大学)に入学。勉学に励むと共に、陸上競技の練習にも力を注いだ。その結果、大正11年(1922年)「全国陸上競技大会」800m走に出場して優勝し、根岸要二の名が埼玉県の陸上界で知られるようになりました。



大正11年 埼玉県師範学校に在学当時の要二  
(全国陸上競技大会800m競争で優勝)

大正12年(1923年)3月、埼玉師範学校を卒業して、4月より訓導(現在の教諭)として入間郡内の小学校に勤務。大正15年(1926年)5月、山村みよと結婚し、根岸要二から山村要二に改姓。昭和16年(1941年)教頭。昭和19年(1944年)10月小学校長になりました。

昭和25年(1950年)11月、山村女子高等学校(当時の坂戸町)設置認可。昭和26年(1951年)3月、学校法人山村学園設置認可になりましたので、山村要二は当時勤務していた、入間郡大東村立大東東小学校長を3月に辞して、4月、山村学園理事長に就任いたしました。

父は理事長になってからも、公立小学校の一教員として、また管理職の校長としての経験を持っていたので、母みよが校長を務める山村女子高等学校(現在の山村学園高等学校)・山村第二女子高等学校(現在の山村国際高等学校)の教育活動にも協力して学園運営にあたりました。

また、昭和43年・44年(1968年・1969年)には、埼玉県私立中学高等学校協会の副会長・昭和45年(1970年)から昭和50年(1975年)までは、協会理事・昭和51年(1976年)から昭和54年(1979年)まで、再び協会の副会長になりました。その他に埼玉県私立学校審議委員・埼玉県私立学校福祉財団理事・埼玉県公私立高等学校協議会委員等を務め、埼玉県私学振興のために尽力いたしました。



昭和45年7月27日  
ヨーロッパ旅行  
(パリのベルサイユ宮殿を背に)

昭和53(1968年)4月、教育功労者として勲四等旭日小綬章を受章いたしました。母は昭和48年(1973年)に教育功労者として勲四等宝冠章を受章しているので、夫婦そろって現職教育者として受章したのは、このうえない喜びでした。



昭和53年4月29日 教育功労者として勲四等旭日小綬章を受章した要二



昭和48年4月19日 勲四等宝冠章を受章したぬみよ

平成2年(1990年)9月1日、学校長として、母ぬみよが88歳、平成3年(1991年)3月30日、理事長として、父要二が88歳の米寿をそろって元気に教育の現場で迎えました。山村女子短期大学(現在の山村学園短期大学)では「ぬみよ・要二のならば米寿を祝う会」が催されました。山村女子高等学校(現在の山村学園高等学校)後援会が「ぬみよ・要二のならば米寿を祝って」校地に記念碑を建立いたしました。山村第二女子高等学校(現在の山村国際高等学校)後援会では「ぬみよ・要二のならば米寿を祝って」校舎の玄関にレリーフを掲げました。

それまで病气らしい病気もしなかった父が、平成3年(1991年)6月頃から体調を崩して病院通いをするようになり、12月に入ってから治療に専念するため入院いたしました。平成4年(1992年)2月20日、公立小学校・山村学園と、教育一筋に69年の歩みが止まり、88歳10ヶ月の生涯を閉じました。

亡き父要二の思い出を述べることは、弟2人・妹が他界した今では私だけになってしまいました。

#### その1

昭和23年(1948年)か24年(1949年)か、記憶がはっきりしませんが、当時の川越市営初雁グランド(現在の川越市営初雁野球場)で、川越市町内会対抗運動会が開催されました。その種目の中に、年齢別リレーの競技がありました。10歳代・20歳代・30歳代・40歳以上で一人100mずつ走りバトンを次の走者に渡す4人で400m走る競技です。小仙波町の会長さんから、当時入間郡大東村立大東東小学校の校長をしていた父に、リレーのアンカーとして走ってほしいとの依頼がありましたので、こころよく引き受けました。

当日私も、父が埼玉師範学校の時に陸上競技の800m走で優勝した写真を見ているので、どんな走り方をするのか初雁グランドに見に行きました。小仙波町チームは予選を通過して決勝に出場していました。第3走者まではまんなかへんを走っていました。白いシャツに白い短パンをはいた父はバトンを受け取ると、往年を思いださせるようなスバラシイ走りで行って他の町内の選手を追い越して2位以下を大差で引き離し優勝いたしました。私は父の走る姿を見たのはこの時が初めてでした。

#### その2

書道について

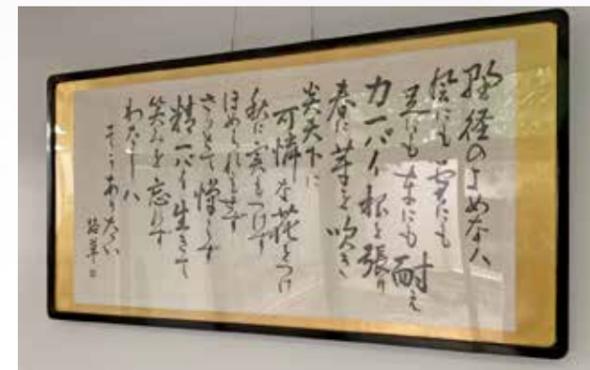
ぬみよが校長の山村高等裁縫女学校在昭和14年(1938年)12月に川越高等家政女学校に校名を改称した時に卒業式の時にわたす卒業証書に氏名・生年月日を書き入れて学校印・校長印を押す作業を、父要二は小学校に勤務していたので、夕食後・日曜日に行っていました。(註 卒業証書に氏名・生年月日に書き入れる作業は、理事長になってからはしていません)

昭和50年(1975年)頃だと思いますが、自宅を改築した時に2階の和室二間の隣に壁を仕切って洋室を設けました。冷暖房を設置し、幅の広い長机を置いて専用の書道室といたしました。日曜日にはこの静かな部屋で、手本を見ながら画仙紙(幅45cm・長さ135cm)に字を書いていた。自作の詩を用紙に書いたのは裏打ちし

て額に入れ、今でも山村学園高等学校校長室の前の壁に掲げられてあります。



故 山村要二の書



校長室の前に掲げられている山村要二の書

平成元年(1989年)に開学した山村女子短期大学(現在の山村学園短期大学)に学生ホールの建設が平成4年(1992年)1月に着工予定であることを、当時の学長である山村健が平成3年(1991年)9月頃、ぬみよ・要二に話をし、完成した建物の名称を「芙蓉館」にしたいと伝えました。「ふ」はぬみよのふ、「よう」は要二のよう。ふようは花の名前の芙蓉、建物なので「芙蓉館」。(註 芙蓉はアオイ科の落葉低木。東南アジアの原産。日本では九州・沖縄に自生。高さ1mから2mに、夏から秋にかけて淡紅色・白色の大型の一日花を開く。観賞用。樹皮は製紙に用いる。)

父は学長から建物の入口に掲げる「芙蓉館」の文字を書いてもらいたいと依頼されて引き受けました。当時、父は体調を崩して病院通いをしており、健康状態は良好

ではありませんでしたので、なかなか自分で気に入る字が書けませんでした。氣力をふりしぼり用紙を数十枚使い書いて、やっと自分で納得する字で「芙蓉会館」を書きあげましたが、生前の最後の書になってしまいました。

# 芙蓉會館

故 山村要二の書

平成5年(1993年)6月、落成した建物の入口には、父の書いた「芙蓉会館」から「会」を除いた「芙蓉館」が掲げられました。そして、「芙蓉館」の前には芙蓉の木が植えられて毎年夏から秋にかけて大きな花を咲かせています。



平成5年 落成した「芙蓉館」(要二の揮毫による)



## 山村学園創立の歴史

山村学園の創立者山村みよは、現在の山梨県甲府市でわずかばかりの土地を借りて農業を営む、山村忠吉とはるのひとり娘として明治35年(1902年)9月1日に生まれた。貧しい農民の生活をしてきた両親は、故郷を離れて当時の川越町にあった石川組製糸所第三工場に住み込みで働いた。

川越尋常高等小学校高等科を卒業したみよは両親と共に製糸工場で働いたが、このままでは自分たちの生活は変わらないと考えた。自分をもっと高い学問を身につけることで今の一家の生活を変えたいと思い、特に女性として必要な裁縫の技術を身につけて多くの人たちの自立を促したいとの考えを両親に話し、進学への熱い思いを説いた。その熱心さと決意に根負けした父忠吉は進学を了承し、そのために好きな酒とたばこを断ち、残業を増やして学費を捻出した。

大正9年(1920年)4月、みよは東京裁縫女学校(現在の東京家政大学)に入学し寮生活をしながら学業に励んだ。大正11年(1922年)3月、師範科の課程を卒業した後、更に大妻高等女学校(現在の大妻女子大学)で5か月間、日本刺繍を学んだ。

父忠吉は、更に生活費を切り詰めて蓄えた資金で小仙波の喜多院の門前に売りに出されていた料亭(土地は喜多院が所有)を買取り、内部を改装してみよを援助した。

みよが両親への感謝を込めて「裁縫手芸習所山村塾」の名を掲げたのは大正11年(1922年)9月1日二十歳の誕生日であり、現在の山村学園が第一歩を踏み出した記念すべき日となった。

この記念碑をもって山村学園発祥の地であることを示す。

山村学園創立100周年記念 令和4年9月1日  
山村学園同窓会



令和4年9月1日に創立100周年を記念して喜多院参道にある山村学園発祥の地に功績を記した銘板を建立しました。お近くへお出かけの際に、是非ご覧いただければと思います。

## ご報告

山村学園創立100周年記念事業にあたり下記の事業を行いました。

1. 創立者ご夫妻の胸像の修復(山村学園高等学校内)
2. 山村学園発祥の碑の整備(喜多院山門近く)
3. 下記の団体への支援
  - ・山村学園創立100周年事業本部へ
  - ・山村学園高等学校へ
  - ・山村国際高等学校へ
  - ・自習室等の整備
  - ・ペルーナドーム(西武ドーム)での記念式典

上記の事業は、山村学園むらさき会特別積立金を充たせて頂きました。



山村学園高等学校・山村国際高等学校両校に自習室等を整備しました。

Before



After



創立者ご夫妻の胸像の修復(山村学園高等学校内)

埼玉県民の日 11月14日ペルーナドーム(西武ドーム)にて100周年記念事業を行います。現役の生徒をはじめ、OB・OG等が参加し記念式典を行います。詳細は、各学校のホームページをご覧ください。

### ～令和5年度事業計画～

4月	6日(水) ■入学式 7日(木) ■入学式 21日(金) ■会計監査	山村学園高等学校 山村国際高等学校 令和4年度会計監査
5月	12日(金) ■常任委員会 ■広報委員会	総会準備等 むらさき会だより編集・校正、HP更新等
6月	6日(火) ■体育祭 9日(金) ■総会 ■広報委員会	山村国際高等学校 常任委員のみで開催 むらさき会だより編集・校正、HP更新等
7月	7日(金) ■常任委員会 ■広報委員会	今後の予定について むらさき会だより編集・校正・発注
8月	25日(金) ■常任委員会	むらさき会だより発送準備等
9月	9日(土)・10日(日) ■紫藤祭 ■ふじぞの祭	山村国際高等学校(開催予定) 山村学園高等学校(開催予定)
10月	5日(木) ■体育祭	山村学園高等学校(開催予定)
11月	14日(火) ■創立100周年記念式典(祭)	100周年を祝う
12月	1日(金) ■常任委員会	入会式について
2月	9日(金) ■常任委員会	入会式準備、来年度事業計画、同窓会係会議について
3月	1日(金) ■入会式 ■入会式 2日(土) ■卒業式 3日(日) ■卒業式	山村国際高等学校(開催予定) 山村学園高等学校(開催予定) 山村学園高等学校(参列予定) 山村国際高等学校(参列予定)

※日程については変更の可能性があります。  
※懇親会については、むらさき会HP (<https://murasakikai.com/>) にも情報を載せていますので、そちらもご確認ください。

## 100th Anniversary YAMAMURA GAKUEN

大正11年9月1日 創立者 山村みよが「裁縫手芸伝習所山村塾」を開設  
(学校法人山村学園創立80周年記念誌より抜粋)



山村女子高等学校正門(昭和61年)



山村女子高等学校



山村国際高等学校



学校法人 山村学園  
山村学園高等学校



学校法人 山村学園  
山村国際高等学校



学校法人 山村学園  
山村学園短期大学

学校法人 山村学園  
山村学園高等学校



山村学園高等学校  
校長 平野 正美 先生



「解のない時代」を生き抜く力の育成

むらさき会の皆様には、日頃から本校へご支援・ご協力をいただき、衷心より感謝申し上げます。特に創立100周年の昨年度には多大なご寄付を頂戴し、自習室整備をはじめこれまでに手を付けられなかった多くの課題を補完することができました。

さて、3月2日の卒業式では、316名が母校を巣立ちました。この学年は、新型コロナウイルスの感染拡大により入学式は新入生と教職員のみで2か月遅れて実施し、学校行事を中止や変更せざるを得ない不完全燃焼の3年間を送りました。今回、4年ぶりにご来賓や保護者の皆様のご臨席の元に卒業式を実施できましたことは、大変に喜ばしい限りです。

卒業学年は募集段階で入学数を調整したために、昨年度に比べて150名ほど少ない生徒数でした。従って、進路実績は例年の合格者数を下回る結果となりましたが、お茶の水女子大や埼玉県立大等国立大8名、早慶上理6名、GMARCH22名などの実績を残しました。特筆すべきは、現役進学率が97%を超え、4年制大学進学率は9割に迫る勢いであったことです。

部活動では、硬式野球部が関東大会春季ベスト4・秋季ベスト8・選抜21世紀枠の推薦、バトン部が全国3大会制覇、女子硬式テニス部は関東大会団体準優勝・全国大会出場・栃木国体3位、ダンス部は全国大会ノヴェルティ部門準優勝、剣道部が関東大会男子団体・女子個人出場・男子団体準優勝、ソフトボール部が東日本大会出場、女子バスケットボール部は県大会4位、オーディオビジュアル部「地方の時代」奨励賞、書道部「日本武道館館長賞」受賞など、各部とも創立100周年を飾るにふさわしい活躍をしてくれました。

文武にわたる活躍、快活で仲良く礼儀正しい学園の雰囲気など100年間に築いてきた伝統とともに、これからは「解のない時代」を生き抜く力の育成が不可欠となります。

個々の生徒の才能を伸ばす3コース制、「人とつながる力」を育む探究学習活動、さらに国際社会で活躍するグローバル人材の育成を目指して、今後ますます地域に期待され信頼される学校づくりを進めてまいります。

学校法人 山村学園  
山村国際高等学校



山村国際高等学校  
校長 中山 達朗 先生



次の百年に向け ホップ・ステップ・ジャンプ

春暖の候、「むらさき会」の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本学園は令和4年度、学園創立100周年という記念すべき節目の年を迎え、今年度はその記念祭を11月14日に所沢市の「ベルーナドーム」で開催するため、教職員・生徒が一体となって準備を進めております。

こうした中、3月3日には235名の生徒が新しいステージに向かい、本校を巣立っていきました。そして、4月7日には329名の新入生を迎え、むらさき会田中久子会長のご臨席の下、第73回入学式を厳粛かつ盛大に執り行い、令和5年度がスタートしました。

今回は最初に100周年記念校内事業について報告をいたします。令和4年度事業として、図書室改修に伴い自習室を新設し既に活用しております。さらに、第1グラウンドの人工芝化につきましては、業者選定も終了し、4月17日より工事に入り、7月末日の完成を目指して作業を進めて参ります。

次に、教育活動における進路実績のうち大学進学率では、4年生大学65%短大8%、4年制大学における現役合格者のべ人数は、国立14名、私立216名でした。主な内訳は、立教・法政・学習院・中央大学などの難関私立大学をはじめ日東駒専・大東

亜帝国などへも多くの合格者を輩出しました。国立大学では、埼玉大学・山形大学・防衛大学校など、生徒・保護者の期待に応える実績をあげることができました。

部活動では、それぞれの部が高い目標を掲げ、全国・関東大会出場や県大会上位入賞を目指し日々の練習・研究・稽古・トレーニングに励んでおります。なかでも、生物部、ダンス部、吹奏楽部、バトントワリング部の全国大会連続出場及び男子ソフトテニス部の関東高等学校選抜大会、全日本私立高等学校選抜大会出場は、学園創立100周年に花を添えるものでした。

さらに、ダンス部の全国高校ダンス部選手権2年連続優勝、吹奏楽部の全日本プラスシンフォニーコンクール2年ぶりの優勝、生物部の朝日新聞社高校生・高専生科学技術チャレンジ優秀賞受賞、ジュニア農芸化学会2023金賞受賞は、「山村国際高等学校」の名を全国に轟かせました。

このような数々の実績は、「むらさき会」の皆様からの物心両面にわたるご支援の賜物でございます。引き続き、山村みよ先生の教えを大切に「新たな100年に向け、ホップ・ステップ・ジャンプ」の気概を持って、母校の発展に教職員一同邁進して参る所存でございます。今後とも、山村国際高等学校へのご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

山村学園短期大学



山村学園短期大学 学長 野口 一夫 先生

百周年記念事業

中庭のプロムナード及びファイヤーサークルを設置。203教室の固定されていた机・椅子を撤去し、アクティブラーニング等の活用を念頭に入れ移動可能なものとした。オープンキャンパス等で活用している。



中庭のプロムナード



ファイヤーサークル



11月14日に行われる100周年記念祭に向けて、山村学園高等学校・山村国際高等学校・山村学園短期大学3校合同での実行委員会が立ち上がりました。



本学のクヌギ・コナラの林



キンラン

キンランの咲くキャンパス

キンランとは

里山や低山の林に棲息する多年草。四月から五月にかけて花が咲くラン科の植物。美しく可憐な金色の花は、見る人を魅了する。今年、本学キャンパスでは9本のキンランが確認されている。

キンランは絶滅危惧種

環境省のレッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。盗掘も減少の原因。キンランは栽培がとて困難な植物で自宅の庭に植えてもほとんど育たない。

キンランとギンランの共演乱舞

本学のキャンパスでも珍しい光景が見られた。キンラン（金欄）とギンラン（銀欄）が並んで咲くという光景。いかに本学がその条件に当てはまっているかの証明である。

キンランは半寄生植物

多くのラン科植物は、「菌根菌」と呼ばれる菌から栄養を得て共生している。キンランの菌根菌は、クヌギやコナラ等の樹木の外生菌根菌と言われ、樹木・菌根菌・キンランの三者の共生関係が成立して初めてキンランは生きていくことができるとされている。まさに本学にはクヌギ・コナラの樹木が生い茂っていて絶好の環境にあるといえる。

花言葉は「眠れる才能、華やかな美人」

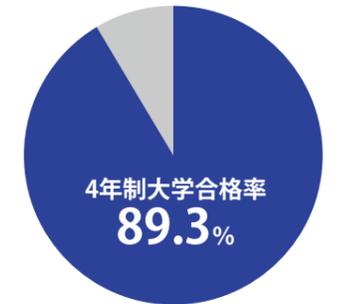
里山の木漏れ日の中で咲く姿をまさに表しているといえる。

キンランが咲いていたら「良い里山」

キンランやギンランが生えている場所は多様性が豊かな林であり、良質な里山を代表するクヌギやコナラが元気で、適度に日も当たっている場所。ぜひとも今後も維持していきたいものである。

進路実績 現役合格実績(2022年度)

山村学園高等学校



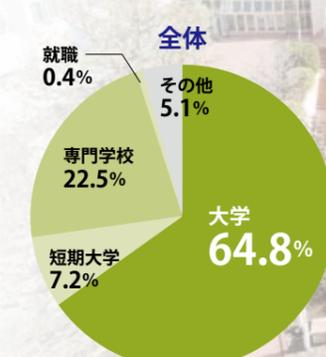
- 【国立大学】8名  
茨城大学(1名) 秋田県立大学(2名) 長野大学(1名)  
お茶の水女子大学(1名) 埼玉県立大学(1名)  
北見工業大学(1名) 高崎経済大学(1名)
- 【早慶上理】8名  
早稲田大学(1名) 上智大学(4名) 東京理科大学(3名)
- 【GMARCH】23名  
青山学院大学(1名) 中央大学(3名) 明治大学(4名)  
学習院大学(5名) 法政大学(6名) 立教大学(4名)
- 【成成明國武】18名  
成蹊大学(3名) 國學院大学(4名) 武蔵大学(10名)
- 【日東駒専】60名  
ほか 多数

山村国際高等学校

国公立大学・難関私立大学・GMARCHをはじめ、日東駒専など多くの大学へ現役合格者を出しており、生徒・保護者の皆様の期待に応えております。



- 【国立大学】14名  
会津大学(1名) 鳥取環境大学(1名)  
茨城大学(1名) 富山大学(1名)  
埼玉大学(2名) 山形大学(1名)  
埼玉県立大学(1名) 防衛大学校(3名)  
群馬県立女子大学(3名)
- 【早慶上理】1名  
東京理科大学(1名)
- 【GMARCH】7名  
学習院大学(4名) 法政大学(1名)  
中央大学(1名) 立教大学(1名)
- 【日東駒専】27名  
日本大学(18名) 駒澤大学(1名)  
東洋大学(7名) 専修大学(1名)
- ほか 多数



# むらさき会

同窓会むらさき会  
HP(ホームページ)  
を開設しました。

<https://murasakikai.com/>



HPのQRコード



プロフィール  
**渋谷 真実子さん**  
山村国際高等学校

私が入学した当時は、山村第二女子高等学校という名称で女子高でした。制服も今の感じとは違い、紺のジャンパースカートにブレザーというシンプルな装いでした。

そのような中、在学二年目に校名と制服が変わることになり、特に制服のリニューアルにクラスメイトと歓喜の声を上げたことを今でも良く覚えております。

デザイナーズブランドで、当時は他校とは違う品あるチェック柄がとても新鮮で可愛く、毎日学校に通うのが楽しい日々でもありました。多感な年頃ですので、クラスメイトと苦楽を共にしたことも今となっては良い思い出です。

現在、山村学園高等学校、山村国際高等学校が多くの皆様に支持され、毎年、大勢の新入生が入学しておりますが、そのことを誰より喜ばしく思われてらっしゃるのは、山村ぬみよ先生だと思います。創立100周年、これからも卒業生として、この山村の伝統と精神の伝承に努めてまいります。



プロフィール  
**堀内 実可子さん**  
山村学園高等学校

入学のきっかけは、24時間テレビにダンス部 (Triumph) が出演しているのに魅了され「ここでダンスをやりたい!」という気持ちになったことです。

高校生活は、ダンスのことで頭いっぱいでした。文武両道は苦手でしたが、何事も一生懸命に頑張ることで、周りの方に応援され、苦しい事にも取り組む大切さを学びました。最後の大会で全国優勝できた時、みんなでステージに上がり号泣したことが最高の思い出です。

卒業してからは、母校で働く事が夢でした。夢を叶えた今、次は山学生が「山村学園で高校生活を送れて楽しかったな」と大人になっても思い返せるように、日々生徒と向き合い私自身も成長していきます。



プロフィール  
**高井 麻由さん**  
山村国際高等学校

私は学生時代に英語総合コースを専攻し、文化祭で英語劇「白雪姫」をおこないました。夏休み中にクラスで台詞・衣装・舞台を考え、先生方から助言をいただきながら作り上げたことが印象に残っています。二年間クラスが変わらないことで仲間も深められました。

教員として母校に戻った今、日々試行錯誤を繰り返しながら生徒と向き合っています。今の年齢でしかできない関わり方があると思い、積極的に生徒たちの中に飛び込んでいます。



プロフィール  
**宗利 渚さん**  
山村学園高等学校

私は山村学園で高校生活を送る中で「教師になる」という目標ができました。教師という職に憧れはありましたが、実際の決め手は、尊敬する先生や友人との出会いがあったからです。

山村学園の先生方は、在学・卒業後を問わず、生徒に対して真摯に向き合ってくださいます。自分自身、先生方の献身的なサポートで受験を乗り越えることができました。このような先生方から生徒との接し方や教科の指導法を学びたいと思い、山村学園高校の教師になりました。未熟な点や改善すべき点がありますが、生徒に尽くせるよう、教育活動に励んでいきます。

## むらさき会令和5年度役員一覧

会長：田中 久子	事務局：吉田 アキコ
副会長：野島 康子	編集：小久保あかり
副会長：加藤 充代	編集：青木 理江
相談役：山村 寛	
顧問：岡 實	
顧問：平野 正美	
顧問：中山 達朗	

## 編集後記

山村学園は、創立100年。この輝かしい時に、「むらさき会No27号」発行できますことを、心から感謝申し上げます。創立者のぬみよ先生のお誕生日に「むらさき会」だよりを発行させていただきます。

今回も多くの関係者のみなさまのご支援・ご協力を頂きまして、原稿もスムーズに集まり、感謝申し上げます。お読み頂き、ご意見やご感想を山村学園同窓会担当(事務室)まで、お寄せくださいますよう、お願い申し上げます。

住所・氏名等の変更、むらさき会へのご意見、ご要望がございましたら下記の連絡先までご連絡をください。

<むらさき会連絡先> 〒350-1113埼玉県川越市田町16-2 TEL:049-225-3565